

令和4年度  
教育委員会の自己点検・評価報告書  
【対象事業 令和3年度】



令和4年12月  
昭和町教育委員会

# 目 次

	ページ
はじめに	1
I 教育委員会の点検・評価について	
(1) 趣旨	2
(2) 点検・評価の対象	2
(3) 点検・評価の方法	2
(4) 報告書の公表	2
II 教育委員会の活動及び運営状況	
(1) 教育委員会委員の構成	3
(2) 学校訪問の実施	3
(3) 研修会等への参加	3
(4) 教育委員会付議事件・報告事項	4
(5) 教育委員会委員活動報告	8
(6) 総合教育会議	8
昭和町教育方針	9
III 自己点検・評価	
(1) 基本方針1(学校教育課・生涯学習課関係事業)	12
(2) 基本方針2(学校教育課関係事業)	15
(3) 基本方針3(生涯学習課関係事業)	18
(4) 基本方針4(生涯学習課関係事業)	20
学識経験者による点検評価に対する意見	23
おわりに	25

## はじめに

昭和町では、第6次総合計画のなかで、今後10年間の本町のあるべき姿を『未来への魅力あふれる昭和町—暮らしやすさ一番を目指して—』と定めています。また、基本方針では「豊かな心と文化を育むまちを目指す」として生涯学習社会の創造、地域の文化とスポーツの振興、子どもたちへの教育の充実を掲げ、それぞれの施策を推進してまいりました。

また、教育委員会では、令和元年度からの昭和町教育方針を策定し、引き続き「新しい時代を担う人づくり」を基本理念に「昭和教育」の推進を図っていくこととしました。

学校教育においては、国が進めるGIGAスクール構想により、全ての学校に高速通信ネットワーク環境の整備と、児童生徒一人一台端末の配備を終え、中学校ではコロナ感染症による欠席者の対応として、持ち帰り学習への取り組みを行いました。

不登校の児童生徒への新たな政策として、中央市・昭和町教育支援センター「にじいろ教室」を共同設置し、集団生活への適応、基礎学力の補充等、改善に向けた支援を行っております。令和3年度は指導員を増員し体制の強化に努めました。

学校給食においては、異物混入のない安全で美味しい給食の提供はもちろんのこと、様々なアレルギーへの対応強化も進めると共に、滞納整理業務の強化も図りました。

生涯学習においては、令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年海外派遣事業が実施できず、また、スポーツ協会の春・秋球技大会、文化協会の文化祭、子どもクラブ球技大会、スポーツフェスティバル、文化講演会等が中止となりました。また、各種のスポーツ教室、子ども教室等は、中止又は開催回数を減らすなどの対応となりました。

新型コロナウイルス感染症流行の波に翻弄された1年でありましたが、成人式は感染対策を実施する中で無事開催することができました。また、東京オリンピック聖火リレーの成功や、地方病体験記の発刊は大きな成果となりました。

町立図書館、町立温水プールでは、臨時休館、入館制限、開館時間の短縮を余儀なくされましたが、感染症対策を実施する中で、新型コロナウイルス感染症流行状況を注視し、国・県からの情報等を収集し、規制を段階的に解除しながら対応しています。

これまでの本町の方針及びそれに基づくさまざまな施策に対する令和3年度事業の自己点検と評価を行い、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への教育委員会の内容説明等を行っていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、報告するものです。

令和4年12月

昭和町教育委員会

## I 教育委員会の自己点検・評価について

### (1) 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会自らが点検・評価を行い、今後の取り組みの方向性や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図っていきます。

また、点検・評価の結果を報告書にまとめ、町議会へ提出するとともに町民の皆様に公表することにより説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目的としています。

### (2) 自己点検・評価の対象

自己点検・評価については、第6次総合計画の基本方針及び昭和町教育方針に基づき、令和3年度における教育委員会の活動及び各施策ごとの主要な事業を対象として実施しています。

### (3) 自己点検・評価の方法

自己点検・評価は、後期基本計画に掲げられた各施策ごとの主要な事業について、その効果を検証するとともに、PDCAサイクルにより、より効果的・効率的に次年度の事業に反映させることができるよう、課題や反省点を記述する方式で行っています。

### (4) 報告書の公表

作成した報告書については、議会に提出し、公表します。

## II 教育委員会の活動及び運営状況

### (1) 教育委員会委員の構成

職 名	氏 名	任 期	
教 育 長	太 田 充	教育長(新制度)	H31. 4. 1 ~ R 7. 3.31
教 育 長 職務代理者	石 原 保 夫	職務代理者	R 3. 4. 1 ~ R 4. 3.31
		委 員	H30. 8. 1 ~ R 4. 7.31
委 員	小 宮 山 稔	委 員	R 1. 5. 15 ~ R 7.10.21
委 員	山 田 由 美	職務代理者	H27.11. 1 ~ H28. 3.31
		職務代理者	H31. 4. 1 ~ R 2. 3.31
		委 員	H26. 8. 1 ~ R 4. 7.31
委 員	磯 部 幸 廣	職務代理者	H28. 4. 1 ~ H29. 3.31
		職務代理者	R 2. 4. 1 ~ R 3. 3.31
		委 員	H27. 4. 1 ~ R 5. 3.31

### (2) 学校訪問の実施

訪問月日	訪 問 校	出 席 委 員
6月24日(木)	押原小学校	教育長、委員全員
6月25日(金)	西条小学校	教育長、委員全員
6月29日(火)	常永小学校	教育長、委員全員
6月30日(水)	押原中学校	教育長、委員全員

### (3) 研修会等への参加(中北地区・山梨県市町村・県外研修)

開催日	研 修 会 名	会 場	参加人数
令和3年4月28日(水)	中北地区教育委員会連合会総会及び研修会	韭崎市	4人
5月26日(水)	関東甲信越静岡市町村教委連総会・研修会	書面決議	5人
10月21日(木)	中北地区教育委員会連合会地域教育フォーラム	甲斐市	1人
11月8日~24日	山梨県市町村教育委員会連合会秋季研修会	リモート	5人
令和4年2月9日(水)	山梨県市町村教育委員会連合会第2回理事会	書面決議	5人
2月14日(月)	山梨県市町村教育委員会連合会理事会	韭崎市	1人

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、ほとんどの研修会が中止となりました。

## (4) 教育委員会付議事件・報告事項

開催月日 (区分)	案件区分	件名
4月15日 (定例会)	協議事項	新年度就学援助費(新入学準備費)支給追加認定について
	報告事項	① 4月実施四校会の報告について ② 令和3年度中北地区教育委員会連合会総会について ③ 令和3年度関東甲信越静市町村教育委員会連合総会について ④ 全国学力学習状況調査の実施について ⑤ 昭和町小中学校教育過程説明会について ⑥ 昭和町小中学校教育委員学校訪問について ⑦ 第一回管理主事地教委・学校訪問について ⑧ 今後の主な予定について
	その他	令和3年度教育委員積立金の会計報告・令和4年度集金について
5月13日 (定例会)	協議事項	なし
	報告事項	① 5月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ 常永小学校・押原中学校増築工事について ④ 全国学力学習状況調査の実施について ⑤ 教育支援センター「にじいろ教室」の今後について ⑥ 昭和町小中学校教育委員学校訪問について ⑦ 第一回管理主事地教委・学校訪問について ⑧ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について ⑨ 今後の主な予定について
	その他	① 昨年度の委員報酬と費用弁償の支払いについて ② 町内の宅地開発の現状について
6月17日 (定例会)	協議事項	昭和町学校給食費徴収規則の一部改正について
	報告事項	① 6月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ 不登校児童生徒への効果的な対策・対応について ④ 常永小学校・押原中学校増築工事について ⑤ 昭和町小中学校教育委員学校訪問について ⑥ 昭和町教員の多忙化対策検討委員会について ⑦ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について ⑧ 今後の主な予定について
	その他	なし
7月8日 (定例会)	協議事項	昭和町学校給食費徴収規則の一部改正について
	報告事項	① 7月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ GIGAスクールの進捗状況について

7月8日 (定例会)	報告事項	④ 常永小学校・押原中学校増築工事について ⑤ 町アレルギー対策連絡協議会について ⑥ 昭和町いじめ等教育問題対策連絡協議会について ⑦ 町学校給食運営委員会について ⑧ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	なし
7月29日 (臨時会)	協議事項	中学校教科用図書「社会(歴史的分野)」の採択替えの協議会結果の承認について
	報告事項	なし
	その他	押原中学校の増築について
8月19日 (定例会)	協議事項	就学援助費支給認定について
	報告事項	① 8月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ 常永小学校・押原中学校増築工事について ⑤ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	にじいろ教室の移転について
9月16日 (定例会)	協議事項	① 就学援助費支給(追加)認定について ② プールの今後について
	報告事項	① 9月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ 常永小学校・押原中学校増築工事について ⑤ 新就学児童、中学校入学生徒数について ⑥ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	なし
10月14日 (定例会)	協議事項	なし
	報告事項	① 10月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ 常永小学校・押原中学校増築工事について ⑤ 道徳教育授業公開について ⑥ 新就学児童、中学校入学生徒数(10月現在)について ⑦ 来年度の「にじいろ教室」について ⑧ 清水新居区委託児童生徒について ⑨ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	なし
10月22日 (臨時会)	協議事項	令和4年度管理職等の採用・昇任に伴う候補者の推薦について
	報告事項	なし
	その他	教育委員会の自己点検・評価報告書について

11月18日 (定例会)	協議事項	① 教育委員会の自己点検・評価報告書について ② 就学援助費支給認定(追加)について
	報告事項	① 11月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ 常永小学校・押原中学校増築工事等、学校施設について ⑤ 清水新居区甲府市委託児童生徒について ⑥ 新入学児童生徒数(11月現在)について ⑦ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	水無月会開催の是非について
12月16日 (定例会)	協議事項	なし
	報告事項	① 12月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ 常永小学校・押原中学校増築工事等、学校施設について ⑤ 清水新居区甲府市委託児童生徒について ⑥ 教育支援センター「にじいろ教室」について ⑦ 新就学児童、中学生入学生徒数(12月現在)について ⑧ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	なし
1月13日 (定例会)	協議事項	なし
	報告事項	① 1月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応等と今後の学校行事について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ 常永小学校増築工事の見学について ⑤ 教育支援センター「にじいろ教室」の今後について ⑥ 新入学児童生徒数(1月現在)について ⑦ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	常永小学校増築校舎視察について
2月17日 (定例会)	協議事項	① 昭和町就学援助費支給要綱の改正について ② 新年度就学援助費(新入学準備費)支給認定について
	報告事項	① 2月実施四校会の報告について ② 新型コロナウイルス感染症の対策・対応等と今後の学校行事について ③ GIGAスクールの進捗状況について ④ コミュニティ・スクール安全ボランティアについて ⑤ 昭和町総合教育会議について
2月17日 (定例会)	報告事項	⑥ 新入学児童生徒数(2月現在)について ⑦ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について
	その他	① 令和4年度の定例会日程について ② 令和4年度教育長職務代理について



3月28日 (定例会)	協議事項	昭和町就学援助費支給要綱の改正について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 3月実施四校会の報告について</li> <li>② 令和4年度教育長職務代理について</li> <li>③ 令和3年度末昭和町役場の人事異動について</li> <li>④ 令和3年度末県費負担教職員の人事異動について</li> <li>⑤ 令和3年度末町費負担教職員の人事異動について</li> <li>⑥ 令和3年度押原中学校卒業生の進路について</li> <li>⑦ GIGAスクールの進捗状況について</li> <li>⑧ 常永小学校・押原中学校増築工事について</li> <li>⑨ 新入生児童生徒数(3月現在)について</li> <li>⑩ 生涯学習課所轄の施設の開放等の状況について</li> </ul>
	その他	教育長職務代理者の変更について

## (5) 教育委員会活動報告

月 日	行 事 名	会 場
4月5日	小中学校教職員合同着任式	中央公民館
4月7日	小中学校入学式	小中学校
5月13日	各学校教育課程説明	中央公民館
5月26日	第1回管理主事地教委訪問	中央公民館
6月8日	道德教育推進委員会	中央公民館
7月28日	第1回学校給食センター運営委員会	中央公民館
7月29日	第1回押原中学校建設検討委員会	中央公民館
10月8日	第2回管理主事地教委訪問	中央公民館
10月14日	第2回押原中学校建設検討委員会	中央公民館
12月2日	令和4年度予算要求査定ヒアリング(押原小・西条小)	中央公民館
12月6日	令和4年度予算要求査定ヒアリング(常永小)	中央公民館
12月7日	令和4年度予算要求査定ヒアリング(押原中)	中央公民館
1月9日	昭和町成人式	地域交流センター
1月13日	常永小学校校舎増築工事現場視察	常永小学校
1月26日	第一回地教委人事ヒアリング	葦崎合同庁舎
2月9日	第二回地教委人事ヒアリング	葦崎合同庁舎
2月15日	昭和町総合教育会議	中央公民館
2月16日	第2回学校給食センター運営委員会	中央公民館
3月8日	地教委年度末人事(異動案提示)	葦崎合同庁舎
3月9日	地教委年度末人事(異動案提示)	葦崎合同庁舎
3月10日	中学校卒業式	押原中学校
3月11日	地教委年度末人事(内申書作成)	葦崎合同庁舎
3月18日	小学校卒業式	小学校
3月28日	小中学校教職員合同離任式	中央公民館

## (6) 総合教育会議

2月15日	<p>次期教育大綱を見据えた昭和町教育方針について</p> <p>(1) 現在の昭和町教育方針について</p> <p>(2) 次期昭和町教育方針(大綱)を見据えた昭和町教育施策について</p> <p>(3) 令和3年度昭和町教育施策の実施状況について</p> <p>(4) 令和4年度昭和町教育施策(案)について</p>
-------	--

現状における本町教育施策の課題	
*昭和町第6次総合計画前期基本計画(平成28~32年度)において示されている事項	
1 子どもたちへの教育の充実(第二章 第三節)	
就学前教育の充実	○就学前教育体制の充実 ○幼児教育や相談・指導の充実
学校教育の充実	○教育環境の充実 ○教育内容の充実 ○指導体制の強化 ○家庭・地域と連携した特色ある教育の推進 ○高等学校等との連携の促進
青少年の健全育成の推進	○青少年健全育成推進体制の充実 ○青少年組織の育成 ○健全育成環境の形成
2 生涯学習社会の創造	
生涯学習推進体制の整備	○生涯学習基盤の整備 ○学習情報の充実
生涯学習の促進	○学習機会の拡大 ○図書館事業の充実
3 地域の文化とスポーツの振興	
芸術文化活動の振興	○芸術・文化活動の促進 ○芸術・文化団体の育成
伝統文化の継承	○文化財保護の推進 ○文化遺産の継承・活用の促進
スポーツ・レクリエーション活動の充実	○スポーツ施設の整備・充実 ○スポーツ機会の拡充 ○指導体制の強化

# 2019~2023年度 「昭和町教育方針」 (昭和町教育大綱) 概要

## 基本理念 新しい時代を担う 人づくり

- ### 基本目標
- 夢と希望に向かい、自ら学び自ら高める創造性にあふれる人づくり
  - 他者を思いやる心と郷土を愛する心を持ち、心身ともにたくましい人づくり

昭和教育の継承

安全・健康・学力・信頼・参加を  
目指す昭和教育の推進

- ### これからの教育に求められるもの
- 少子・高齢化、グローバル化、価値観の多様化、知識基盤社会等の社会問題への対応
  - 規範意識、学力・学習意欲、家庭や地域の教育力、社会のつながり、安全・安心等に係る各種課題の解決

- ### 第3期教育振興基本計画(2018~2022年度)
- 教育の普遍的な使命
    - ・改正教育基本法に規定する教育の目的である「人格の完成」「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」と教育の目標を達成すべく「教育立国」の実現に向けた更なる取組が必要

- ### 教育の課題
- 社会状況の変化
    - ・人口減少、グローバル化、子どもの貧困、地域間格差
  - 教育をめぐる状況変化
    - ・子どもや若者の学習や生活の課題
    - ・地域や家庭の状況変化
    - ・教師の負担
  - 教育をめぐる国際的な政策の動向
    - ・OECDによる教育政策レビュー

- ### 今後の教育施策に関する基本的な方針
- 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
  - 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
  - 生涯学び、活躍できる環境を整える
  - 誰もが社会の担い手となるための、学びのセーフティネットを構築する
  - 教育政策推進のための基盤を整備する

## 基本理念を実現するための4つの基本方針

### 基本方針1

学校・家庭・地域が連携・協働し、子供たちが郷土に誇りを持ち、心豊かに安心して学べる教育を推進します。

### 基本方針3

生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができる、文化芸術の振興を推進します。

### 基本方針2

社会の要請に応え、子供たちの個性や創造性を伸ばす教育の中で、社会を生き抜く力と確かな学力を育成します。

### 基本方針4

健康で豊かな生活を営むことができる、生涯スポーツの振興を推進します。



## 施策の具体的内容

### 基本方針1

学校・家庭・地域が連携・協働し、子供たちが郷土に誇りを持ち、心豊かに安心して学べる教育を推進します。

- (1) 地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の推進
- (2) 道徳教育・命の教育の推進
- (3) いじめ・不登校対策の充実
- (4) 地域人材・文化施設を活用した郷土学習の推進
- (5) 地域と学校が連携した安全・防災対策の推進
- (6) 学校施設の整備と充実
- (7) 青少年の健全育成の推進

### 基本方針2

社会の要請に応え、子供たちの個性や創造性を伸ばす教育の中で、社会を生き抜く力と確かな学力を育成します。

- (1) 生きる力を育てる特色ある教育課程の作成
- (2) 基礎学力の定着と向上をめざしたきめ細やかな指導の推進
- (3) 外国語教育・プログラミング教育の推進
- (4) 情報教育の充実とICT環境の整備
- (5) 幼・保・小・中・高の連携強化と就学指導体制の充実
- (6) インクルーシブ教育・福祉教育の充実

### 基本方針3

生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができる、文化芸術の振興を推進します。

- (1) 文化芸術活動の啓発と推進
- (2) 文化財保護・愛護の推進
- (3) 誰もが参加できる多様な学習機会の提供
- (4) 生涯学習施設の充実
- (5) 地区及び関係機関・関係団体と連携した学びの環境づくり
- (6) 地域の情報拠点・活動拠点としての学校の活用

### 基本方針4

健康で豊かな生活を営むことができる、生涯スポーツの振興を推進します。

- (1) 子供のスポーツ機会の充実
- (2) ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の充実
- (3) 健康教育（食育・心の教育）の充実
- (4) 関係団体の自主的・主体的活動の支援
- (5) 障害者が参画できるスポーツ環境の充実
- (6) 利用者の立場に立った社会体育施設の運営促進

# 昭和町教育方針（昭和町教育大綱）

基本理念

新しい時代を担う人づくり

基本方針

基本方針1

学校・家庭・地域が連携・協働し、子供たちが郷土に誇りを持ち、心豊かに安心して学べる教育を推進します。

基本方針2

社会の要請に応え、子供たちの個性や創造性を伸ばす教育の中で、社会を生き抜く力と確かな学力を育成します。

基本方針3

生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができる、文化芸術の振興を推進します。

基本方針4

健康で豊かな生活を営むことができる、生涯スポーツの振興を推進します。

具体的方策

- (1) 地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の推進
- (2) 道徳教育・命の教育の推進
- (3) いじめ・不登校対策の充実
- (4) 地域人材・文化施設を活用した郷土学習の推進
- (5) 地域と学校が連携した安全・防災対策の推進
- (6) 学校施設の整備と充実
- (7) 青少年の健全育成の推進

- (1) 生きる力を育てる特色ある教育課程の作成
- (2) 基礎学力の定着と向上をめざしたきめ細やかな指導の推進
- (3) 外国語教育・プログラミング教育の推進
- (4) 情報教育の充実とICT環境の整備
- (5) 幼・保・小・中・高の連携強化と就学指導体制の充実
- (6) インクルーシブ教育・福祉教育の充実

- (1) 文化芸術活動の啓発と推進
- (2) 文化財保護・愛護の推進
- (3) 誰もが参加できる多様な学習機会の提供
- (4) 生涯学習施設の充実
- (5) 地区及び関係機関・関係団体と連携した学びの環境づくり
- (6) 地域の情報拠点・活動拠点としての学校の活用

- (1) 子供のスポーツ機会の充実
- (2) ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の充実
- (3) 健康教育（食育・心の教育）の充実
- (4) 関係団体の自主的・主体的活動の支援
- (5) 障害者が参画できるスポーツ環境の充実
- (6) 利用者の立場に立った社会体育施設の運営促進

年度毎の重点項目  
（☆は各年度の重点項目）

	2019	2020	2021	2022	2023
(1)	☆	☆		☆	☆
(2)	☆		☆	☆	☆
(3)	☆	☆	☆	☆	☆
(4)			☆		
(5)		☆			☆
(6)	☆			☆	
(7)		☆			☆

	2019	2020	2021	2022	2023
(1)	☆	☆			☆
(2)	☆		☆		☆
(3)	☆	☆			
(4)	☆	☆	☆		
(5)		☆		☆	
(6)			☆	☆	

	2019	2020	2021	2022	2023
(1)	☆	☆	☆		
(2)	☆	☆		☆	
(3)	☆		☆		☆
(4)			☆	☆	☆
(5)			☆		☆
(6)		☆		☆	

	2019	2020	2021	2022	2023
(1)	☆		☆	☆	
(2)	☆	☆		☆	
(3)	☆		☆		
(4)			☆		☆
(5)		☆			☆
(6)				☆	☆

### Ⅲ 事業評価(学校教育課・生涯学習課関係事業)

基本方針1 学校・家庭・地域が連携・協働し、子供たちが郷土に誇りを持ち、心豊かに安心して学べる教育を推進します。

#### (1) 地域とともにある学校(コミュニティ・スクール)の推進

事業名	コミュニティ・スクールの実践
概要	昭和町教育委員会は、平成25年度より、文部科学省のコミュニティ・スクールに係る各種研究事業の指定を受け、「地域に開かれた学校」「地域とともにある学校」を目指して研究と実践を進めている。
効果	平成26年度に法令に基づいた教育委員会規則の策定を経て、押原小学校を学校運営協議会のある学校として、正式にコミュニティ・スクールと指定。翌年には町内の小中学校全てにそれぞれの学校の学校運営協議会の設置を行った。令和元年12月に押原中学校が文部科学大臣賞を受賞。
課題 反方向性	学校経営計画案の承認、学校支援地域会議等の組織づくり、地域に開かれた教育課程の編成と実施、学校評価等の取組が、それぞれの学校の実態に応じ行われている。CSDの配置により、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図っているが、令和2年度、更に3年度も新型コロナウイルス感染症対策の影響で活動が大幅に制限された。10年の節目を迎える事から、次のステージに向けた取り組みを検討していきたい。

#### (2) 道徳教育・命の教育の推進

事業名	外部講師の活用による授業の実施
概要	弁護士、NPO法人、地域の住民、スポーツ選手等を講師として招き、いじめの問題や命の尊さや大切さ、自分の夢に向かって努力することの大切さを理解するための総合学習を行う。
効果	多種多様な人材から専門的な内容を学ぶことで、新しい価値観や幅広い視野を持つことができ、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことに繋がっている。また、様々な外部講師に触れることで、キャリア教育にもつながっている。
課題 反方向性	多様な人々から学ぶことは、児童生徒の生き方に関わって大きな指針となっている。現在は小学校において教科化されており、評価の方法など研究すべき課題もあ。新型コロナウイルス感染症対策の影響で、令和2年度と3年度は活動が大幅に制限された。

#### (3) いじめ不登校対策の充実

事業名	いじめ等教育問題対策連絡協議会の開催
概要	関係機関による連絡協議会を開催し、いじめについて各機関の取り組みについて報告を行うとともに、ヤングケアラーについても情報の共有を図る。また、不登校については、早い段階から教員が粘り強い指導を行っている。
効果	いじめや不登校については、年3回のアンケートやQU調査を行い、いじめの実態の把握と早期発見に繋げている。小学校から中学校へ進学する際には、小学校から事前の情報を提供し情報の共有を図っている。
課題 反方向性	コロナウイルス感染症により、不登校児童生徒が増加傾向にある。各学校では、電話連絡や訪問等対応しているが、結果に結びつかない状況である。令和2年度に開設した、中央市・昭和町教育支援センター「にじいろ教室」の利用を促し、学校へ復帰する児童生徒を少しでも増やしていきたい。

(4) 地域人材・文化施設を活用した郷土学習の推進

事業名	地域の教育力と文化施設の活用
概要	保護者や地域の優れた人材によるボランティア活動により、地域の文化施設において「昭和町ふるさとかるた」等、地域の教材を生かした学習を積極的に活用する。
効果	地元の人もあまり知らない昭和町の歴史について、実際に杉浦醫院等の歴史的文化施設を訪れることで、偉大な業績を学び、郷土愛を養うことに繋がっている。また、様々な外部講師に触れることで、子どもたちのキャリア教育にもつながっている。
課題 反方向性	地域の歴史や文化財を学ぶことは、豊かな人間性を身につけ、郷土を愛する心の育成となっている。限られた文化財(施設)を次世代に伝える事はとても重要なことだが、新型コロナウイルス感染症対策の影響で3年度は大幅に活動が制限された。

(5) 地域と学校が連携した安全・防災対策の推進

事業名	南甲府警察署とのパートナーシップ協定の締結と地域と連携した防災教育
概要	児童・生徒の安全な生活と健全育成のための指導、非行や犯罪被害の未然防止と早期解決のため、南甲府警察署と協定を締結し、相互の連携を図る。災害時には各学校が避難場所としての機能を果たさなければならないことから、地域と学校との連携やお互いに果たすことのできる役割等の確認を行う。
効果	警察が関わる事件や事故に関して、町内で発生した事案のみならず、近隣で発生した事案についても、登校時や下校時において児童・生徒に危険が及びそうなものについては、協定の締結により速やかな対応が可能となった。防災対策では、中学校の授業の一環として位置付け、町の防災訓練に参加することにより、中学生の意識の高揚につながった。中学生が地域の中で果たすべき役割を考えるなど、防災意識の向上が図られている。
課題 反方向性	町内の児童・生徒がより一層、安全・安心に暮らすことができる環境を整えていくために警察との連携は必要である。今後、警察との連携をより強化することで、児童・生徒の健全育成を図っていききたい。また、防災教育の一環として、地区の防災訓練に中学生が参加している。中学生が災害時の対応で大きな役割を果たすことができると、地域から期待する声が聞かれ、災害時の共助の意識の高揚につながっている。新型コロナウイルス感染症対策の影響で令和2年度、3年度は活動が大幅に制限されたが、4年度以降も継続して災害に備えていきたい。

(6) 学校施設の整備と充実

事業名	小中学校施設整備事業
概要	児童・生徒の学校生活及び学習環境の充実を図る為、学校施設等長寿命化計画(令和元年度)を作成。今後は小中学校や学校給食センターの施設や設備の経年劣化に伴う修繕を計画的に行っていく。また、生徒数の増加により押原中学校の校舎増築(教室)が急務となっている。
効果	押原小学校は網戸と間仕切りカーテン設置、西条小学校は普通教室冷暖房装置設置工事と屋上防水工事、常永小学校は校舎増築工事と遊具設置工事、押原中学校は屋上防水工事を行った。応急修繕では、常永小学校で体育館玄関タイル改修工事、押原中学校で擁壁改修工事を行った。
課題 反方向性	令和4～5年度押原中学校の校舎増築工事に向け、令和3年度は設計を行った。それ以外の施設では、施設の老朽化に伴う修繕も増加しており、長寿命化計画以外の緊急に対応しなければならないケースも多くなってきている。今後も突発的な事案への対応のため、事務局として予算の確保を継続したい。

## (7) 青少年の健全育成の推進

事業名	青少年・一般・教職員海外派遣事業
概要	平成2年度から実施している事業であり、海外でのホームステイや学校交流事業等を通じて、異国の文化や習慣、言語に触れることで国際的視野を広め、これからの国際社会に対応できる人材を育成することを目的としている。
効果	令和元年度は、応募者が募集定員を上回り、最終的に22名の参加があったが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症により中止となっているが、グローバルな人材育成に寄与する事業である。
課題 反方向性	近年は、ホストファミリー宅には7泊し、ホストファミリーと一緒に登校した後、学校ではスクールメイトと行動を共にする。市内観光、施設見学も実施する。帰国後は事業報告会を開催し、また、事業報告書を作成し関係者に配布している。なかなか成果が表れにくい事業であるが、この事業に参加した経験を今後活かしていただきたいと考えている。今後は、国内外の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら、事業を再開するかの判断をしたい。

事業名	成人式挙行事業
概要	新成人の門出を祝うとともに、大人としての自覚とリーダーの意識を持ち活躍することを願い毎年式典を開催している。 令和3年度の成人式も、帰省する成人者へのPCR検査の助成を行うなどの感染対策を実施し、来賓の縮小、観覧者の入場を制限する中で式典を行った。
効果	令和3年度の参加者は159名で参加率は66%であった。、感染症の影響もあったが新成人となる節目を祝う式典とすることができた。
課題 反方向性	感染症流行前の近年の参加率は70%代であり、現在住民登録がない押原中卒業生へも案内を出しているが、感染症が流行してからは参加率が70%代から50%代へと低下している。県外からは安心して帰省できるよう、対策を講じていきたい。また、法改正により、成年年齢が18歳となったが、成人式は名称を「昭和町二十歳(はたち)の集い」と変更し、引き続き20歳を対象として行う。

事業名	町子どもクラブ指導者連絡協議会支援事業等
概要	12地区ごとに指導者が中心となり各地区で育成事業が行われている。 例年、町子どもクラブ指導者連絡協議会主催事業として、8月に子どもクラブ球技大会を実施している。また、各地区のレクリエーション等のバス代補助を町が行っている。
効果	感染症の影響で、前年に引き続き令和3年度も球技大会は中止となり、各地区のバスを利用したレクリエーションも実施されなかった。学年の壁を無くし地域の子どもが一体となれる事業である。
課題 反方向性	例年、球技大会は、8月の第1週の暑い時期での開催であるが、開催時期及び競技種目の検討は、各地区役員で構成されている町子どもクラブ指導者連絡協議会で進められている。

事業名	青少年育成町民会議支援事業
概要	次代を担う青少年の健全育成のために、青少年の問題を町民全体で考え活動を展開している青少年育成町民会議に、補助金を交付している。
効果	青少年の健全育成に寄与している。
課題 反方向性	新型コロナウイルス感染症のため、夏季・冬季生活指導推進会議や町内環境パトロール等の事業が中止となってしまったが、今後も事業を継続していきたい。



事業評価(学校教育関係事業)

基本方針2 社会の要請に応え、子供たちの個性や創造性を伸ばす教育の中で、社会を生き抜く力と確かな学力を育成します。

(1) 生きる力を育てる特色ある教育課程の作成

事業名	「安全」「健康」「学力」「信頼」「参加」を基本とした昭和教育の推進
概要	「新しい時代を担う人づくり」を基本理念に掲げ、「夢と希望に向かい、自ら学び自ら高める創造性にあふれる人づくり」「他者を思いやる心と郷土を愛する心を持ち、心身ともにたくましい人づくり」の昭和教育を推進する。
効果	すべての学校をコミュニティ・スクールとして指定し、地域の人材を授業の講師として招くことにより、郷土への理解を深めることができた。更に、地域の行事に参加することにより、地域への愛着心を育むことができた。また、研修・研究機会の拡充による教員や指導員の資質向上を図るほか、教育指導監を配置し、学校と家庭との連携を強化し、「昭和教育」を推進することができた。
課題 反省 方向性	郷土昭和町への愛着心を育むため、地域と家庭・学校との連携を深め、将来この町に帰ってきてこの町で暮らしたいと思えるような教育をコミュニティ・スクール事業も活用する中で実践していきたい。新型コロナウイルス感染症対策の影響で令和3年度は活動が大幅に制限されたが、今後も継続していきたい。

(2) 基礎学力の定着と向上をめざしたきめ細やかな指導の推進

事業名	学力向上フォローアップ事業・土曜学習塾の実施
概要	授業や学習に不安を抱える児童・生徒に対し、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図るため、ALT・学生ボランティアによる「学力向上フォローアップ学習会」を実施している。学生ボランティア・教員OBの協力による「土曜学習塾」を令和2年度から実施しているが、3密対策や送り迎え等の利便性、地域性を鑑み、3会場(西条・押原・常永)での開催となった。
効果	令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策により「学力向上フォローアップ学習会」は中止となる。「土曜学習塾」は、押原地区19人、西条地区24人、常永地区29人、合計で72人の申込みがあり、コロナによる中止もあったが11回開催した。3地区の参加延べ人数は438人、1回あたり40人の参加となる。
課題 反省 方向性	「学力向上フォローアップ学習会」では、町の教育指導員と学生ボランティアにより指導を行っている。学生ボランティアに関しては、山梨大学と県立大学の学生以外に私立大学の学生にも呼びかけを行うが、例年、確保しづらい状況である。「土曜学習塾」においても、学生ボランティアの確保が課題である。令和2年度と3年度はコロナ感染症対策により中止や活動が大幅に制限されたが、今後も各方面に協力の呼びかけをしていきたい。

(3) 外国語教育・プログラミング教育の推進

事業名	外国人英語指導とプログラミング教育
概要	外国語教育に対応するため、実績ある専門業者と派遣契約を行い、英語指導助手(ALT)を各学校に1人ずつ配置している。また、GIGAスクール構想により、プログラミング教育が授業必修となる。

効 果	常永小学校と押原中学校は「英語教育改善プラン推進事業」を令和2年度から令和4年度の予定で行うが、各校の英語科担当者との綿密な打ち合わせにより、ALTの協力も得ながら事業を進めている。ALTは担任のサポートを的確にこなし、児童・生徒たちとのコミュニケーションも上手くとれているので、生きた英語を学ばせることができた。
課 題 反 省 方 向 性	外国語教育では、学校間での情報や指導方法等の共有を行い、担任が主体となって授業を進めることができているので、今後は、改善プランで培ったノウハウに対する評価や研究を行い、授業に生かしていきたい。プログラミング教育では、GIGAスクールサポーターを導入している所以、授業での活用を更に増やしていきたい。

(4) 情報教育の充実とICT環境の整備

事 業 名	昭和町教育系ICT整備計画とGIGAスクール構想
概 要	平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」と、山梨県の「新やまなしの教育振興プラン」を基に「昭和町教育系ICT整備計画」を策定。令和元年6月に学校の情報化を推進する法律が公布・施行。同年12月に文部科学省の「GIGAスクール構想」が提示される。
効 果	昭和町教育系ICT整備計画を策定し年度による計画で進めていたが、コロナ禍によるGIGAスクール構想の前倒しにより教育系ICT環境の整備が大幅に早まることとなる。令和2年度は1年間かけて4校に高速大容量通信ネットワークと全ての児童生徒に端末を整備し、令和3年度にはデジタル教科書の導入も行った。
課 題 反 省 方 向 性	令和3年度の6月からGIGAスクールが本格導入となったが、教員も授業でどのように取り入れていくか当初は試行錯誤の繰り返しであった。GIGAスクールサポーターを活用しながら、児童生徒の「興味・関心・理解促進・参加意識」を高め、教員のICT活用に対するスキルアップを図って行きたい。

(5) 幼・保・小・中・高の連携強化と就学指導体制の充実

事 業 名	キャリア教育や英語教育を通じた甲府昭和高等学校との連携
概 要	生徒会と児童会とが協力して年間行事の打合せを行い、町内一斉清掃やあいさつ運動を合同で行うほか、小・中学校と甲府昭和高等学校とがそれぞれの授業の参観を行い、相互に理解を深めるとともに、円滑に連携を行なうための参考とする。
効 果	小・中学校においては、高校生の学習や活動を通じて、今後、自分がどのような環境で生活していくのか、また、モノの見方や考え方を学習するよい機会になるといった効果があり、世代間のギャップをあまり感じさせない効果も期待されている。
課 題 反 省 方 向 性	新型コロナウイルス感染症が蔓延する前は、キャリア教育や英語教育を通じ相互に理解を深める中で連携が図れていたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により事業が停滞し連携が全く図れなかった。終息後は、事業を再開し継続していく。

(6) インクルーシブ教育・福祉教育の充実

事業名	福祉体験や福祉講話の実施
概要	車いす・アイマスク・白杖等を使った福祉体験や、視覚・聴覚障害者等による福祉講話を行い、福祉への理解を深める。
効果	自ら福祉について調べたり、福祉体験や福祉講話を実施したりすることで、障害者の立場になって考え、行動できるようになったり、立場の違う人々に対する認識を深めたりすることに繋がっている。
課題 反省 方向性	新型コロナウイルス感染症対策の影響で令和3年度は活動が大幅に制限された。講話者となる人材の確保が年々難しくなっているが、道徳教育やキャリア教育としても効果的であることから、継続して実施していきたい。

事業評価(生涯学習課関係事業)

基本方針3 生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができる、文化芸術の振興を推進します。

- (1) 文化芸術活動の啓発と推進
- (2) 文化財保護・愛護の推進
- (3) 誰もが参加できる多様な学習機会の提供
- (4) 生涯学習施設の充実
- (5) 地区及び関係機関・関係団体と連携した学びの学習づくり
- (6) 地域の情報拠点・活動拠点としての学校の活用

事業名	町立図書館維持管理事業
概要	開館以来30年が経過しているが、町民が安全で快適に利用できる環境を提供するために、町立図書館の施設及び備品の維持管理に努めている。
効果	町民に安心して施設を利用していただいている。
課題 反省 方向性	施設の老朽化により、修繕箇所が年々増えている。また、蔵書収容能力を超えた蔵書数があり、蔵書の整理も必要な状況である。今後は、公共施設の在り方検討のなかで図書館の在り方と改修等について検討していく。

事業名	町立図書館運営事業
概要	感染症の影響で、臨時休館、入館制限、開館時間の短縮を余儀なくされた。ブックスタート、セカンドブック事業は引き続き実施したが、おはなし会やギターの調べ等の事業は開催数が減となった。また、文化講演会等は中止となった。
効果	新入学児童を対象とした「セカンドブック」事業は、乳児に絵本を贈る「ブックスタート」に続く事業として平成30年度から実施しているが、子どもたちの読書への関心を高めることに効果があがっている。
課題 反省 方向性	感染症対策の影響により、入場者の利用制限及び開館時間の短縮を引き続き行っている状況である。昭和町の独自色を持たせた企画を進める。電子図書館の導入のについて情報収集・検討を行う。

事業名	中央公民館維持管理事業
概要	建築から約50年を経過する中で施設は老朽化している。各種会議、文化協会専門部の活動場所として主に利用されているが、耐震化の問題で現在は新規の利用者を受け入れていない。
効果	文化協会専門部の活動拠点となっている。
課題 反省 方向性	令和元年度末に策定された「昭和町公共施設等総合管理計画」においては、総合劣化度評価点が町公共施設の中で一番低く、今後は施設の長寿命化改修ではなく、施設の取り壊しを予定されている。

事業名	中央公民館事業
概要	中央公民館活動として、歴史講座や子ども教室事業などを開催しているが、会場は別の施設を利用している。子ども教室は17年目を迎え、週末の子どもの居場所づくりにも寄与している。
効果	町民に気軽に参加していただいております、生涯学習の機会を提供している。
課題 反方向性	歴史講座や子ども教室は受講者も多く、。今後も、住民や受講者のニーズに沿った題材を取り入れながら、講座・教室の見直し等を行い充実を図る。会場を別施設としているため、開催日により会場の変更等があり受講者へは不便をかけている。

事業名	文化財保護事業
概要	町内に所在する文化財について調査研究と保存活用に必要な措置を講じる。令和3年度は付議する案件がなく文化財審議会は開催しなかった。また、県外研修も感染症のため中止となってしまった。宅地開発等に係る埋蔵文化財包蔵地の試掘調査は3件あった。
効果	文化財主事が不在であるため、杉浦醫院以外の文化財活用が低調となってしまっているが、継承すべき文化財の保護を行っている。
課題 反方向性	町条例により、市街化調整区域での宅地開発が可能となり、埋蔵文化財包蔵地での調査件数も増加すると予想される。また、杉浦醫院も含め文化財の保存活用について、専門知識を有する文化財主事の採用が必要と考えられる。

事業名	杉浦醫院管理運営事業
概要	平成22年11月にプレオープンし、平成26年3月にオープンした。平成24年8月には母屋、旧医院等の5棟が国登録有形文化財に登録されている。風土伝承館として、地方病資料を中心に、医院棟、納屋、土蔵の一般公開をしている。
効果	感染症の影響で、団体での入館はなかったが、引き続き多くの方々に観覧していただいている。また、地方病の出前授業を、町内だけでなく近隣市の小学校でも積極的にこなしている。令和3年度は地方病体験記「地方病を語り継ごう」を編集・出版し、後世へと引き継ぐ貴重な資料とすることができた。
課題 反方向性	令和3年に母屋・屋敷蔵の調査図面作成を行った。令和4年度に耐震診断を行いその結果を踏まえ、改修方法と今後の活用方法を検討していくが、消防法等により大規模改修が必要となるかもしれない。

事業名	文化協会活動支援事業
概要	町文化協会に補助金を交付している。文化協会の活動は、町広報紙及び隔年で発行している文化協会だよりでも紹介をしている。文化協会が主催する文化祭は、令和元年度は台風の影響で、令和2年度及び3年度は感染症の影響で3年連続して中止となってしまった。
効果	感染症のため専門部によっては活動が低調となっているが、各専門部が、町民を対象とした教室も開催しており、町民の文化・芸術の振興に貢献している。
課題 反方向性	文化協会は、現在22部、168名が活動しているが、感染症流行が長期化しているためか昨年より27名の減となってしまった。今後も、会員確保のための広報活動及び専門部と共催の教室開催等に力をいれていきたい。

事業評価(生涯学習課関係事業)

基本方針4 健康で豊かな生活を営むことができる、生涯スポーツの振興を推進します。

- (1) 子供のスポーツ機会の充実
- (2) ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の充実
- (3) 健康教育(食育・心の教育)の充実
- (4) 関係団体の自主的・主体的活動の支援
- (5) 障害者が参画できるスポーツ環境の充実
- (6) 利用者の立場に立った社会体育施設の運営促進

事業名	町立温水プール維持管理事業
概要	平成4年のオープン以来29年が経過しているため、施設の老朽化により毎年多くの修繕を行っているが、引き続き施設及び備品の維持管理に努めた。プールろ過機は耐用年数を大きく超過しており、また複雑な構造であるためメンテナンス代も高額となっている。
効果	感染対策を実施する中で、町民に安心して施設を利用していただいている。
課題 反方向性	機械設備及び建物の老朽化が進んでいることもあり、今後は公共施設のあり方検討の中で検討していく。

事業名	町立温水プール運営事業
概要	感染症の影響で、臨時休館、入館制限、開館時間の短縮を余儀なくされ、例年開催している、水の運動会、各種スポーツ教室等が開催できなかった。
効果	段階的に入館制限を解除したため、町内者の利用は一定数あった。
課題 反方向性	町民の健康づくりのための施設として稼働しているが、令和3年度も、入館者の利用制限及び開館時間の短縮により、使用料収入が大幅な減収となった。また、各種教室の開催もできなかった。今後は、段階的に制限を緩和し、教室等を再開していきたい。

事業名	スポーツ協会支援事業
概要	町スポーツ協会に補助金を交付している。スポーツ協会では、春秋に球技大会や専門部主催の大会等を開催しているが、令和3年度も感染症の影響で多くの大会が開催できなかった。また、各種専門部の活動も制限された影響で、例年どおりの活動ができなかった。
効果	限られた専門部のみの活動となってしまった。
課題 反方向性	スポーツ協会専門部は現在18部が活動しているが、新規部員の入部者数の伸び悩みも引き続き課題となっている。感染症の終息は見通せないが、国・県等からの指針に基づき、対策をとりながら出来る限り各種事業を開催していきたい。

事業名	スポーツ少年団活動支援事業
概要	町内には9つのスポーツ少年団があり約160名の団員が在籍し、約40名の指導者の指導のもと活動している。町からスポーツ少年団に補助金を交付している。
効果	スポーツを通じ子どもたちの健全育成に寄与している。
課題 反方向性	少子化やスポーツ少年団以外の団体に加入する等、団員確保が課題となっている。指導者については、指導方法を学ぶ機会を増やすことで、指導力の向上、競技力の向上につながるのを、今後も継続して実施することに努める。また、県等からの感染症対策に関する情報提供を行う。

事業名	総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」支援事業
概要	キャメリアでは、ふれあいラジオ体操を平成24年度から実施している。平成29年度からは押原公園に加え、常永ゆめ広場でもラジオ体操を実施している。事業委託としてラジオ体操(4～10月実施)、ハイキング教室、運動能力向上プログラム(小学校での体育授業)を行っている。
効果	キャメリアが開催する事業等通じて、町民のスポーツへ触れ合う機会の創出が行われている。
課題 反方向性	総合型地域スポーツクラブは、中学校の部活動改革において、休日の部活動を段階的に地域への移行を図る取り組みの中で、その担い手として役割を求められていく。町としても、他市町村に比べ総合型地域スポーツクラブとの関りを積極的に深めているので、今後も、事業の委託等連携を強化していきたい。

事業名	スポーツ推進委員運営事業
概要	スポーツ推進委員主催事業の開催や教育委員会主催のスポーツ事業への協力をいただく中で、スポーツ推進振興をはかっている。
効果	軽スポーツ教室の開催や子どもスポーツ教室、ふれあいラジオ体操、スポーツ関連事業の運営、指導を通じて、町民がスポーツへより関わりを持てるような一助となっている。
課題 反方向性	本町のスポーツ推進のさらなる充実に寄与し、地域のスポーツ推進リーダーとしてより活躍していただくため、研修機会の充実や活動体制の整備をより一層進める。また、障がいをもつ方が取り組めるスポーツの研修をすすめ、事業運営できるよう研究を行っていく。

事業名	スポーツフェスティバル支援事業
概要	例年、みんなのスポーツ推進協議会に補助金を交付する中で、みんなのスポーツ推進協議会が主催するスポーツフェスティバルを支援している。
効果	幼児から高齢者までが一堂に介し、スポーツを行い、親しむことを通じて健康体力づくりを図ることの一助となっている。
課題 反方向性	令和2年度に引き続き3年度も、感染症の影響でスポーツフェスティバルが開催できず、補助金も交付できなかった。

事業名	ヴァンフォーレ甲府活動支援事業
概要	ヴァンフォーレ甲府のホームタウンの1市町村として、引き続き、同チームの活動支援を行っていく。
効果	押原公園を練習拠点のひとつとしてしていることもあり、プロスポーツ選手を身近に感じられることができる。各種教室、事業の際にコーチ、選手の派遣をしていただき、プロの指導を町民に提供できる。
課題 反省 方向性	VF甲府というネームバリューは魅力があり、プロのコーチ等の活用も可能であるため、今後も支援を行い、当町事業への協力も要請していきたい。令和3年度は、サッカー教室の講師を依頼した。

事業名	各種スポーツ教室の開催
概要	テニス、親子スケート、親子スキー、バドミントン教室の開催。
効果	親子を対象にしたメニューや、町スポーツ協会専門部の部員を講師として依頼し、スポーツに親しむ機会の創出と技術の向上がはかられている。
課題 反省 方向性	テニス教室以外が感染症のため中止となってしまった。感染症の状況を注視し、対策を取る中で出来る限り開催していきたい。また、総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」にも教室の開催を委託していく。

事業名	社会体育施設維持管理事業
概要	利用者が安全に快適に運動ができるよう修繕を中心とした維持管理業務。
効果	利用者からの声、町生涯スポーツ推進協議会よりいただいた意見、職員の巡視などで必要箇所の修繕や備品の更新、新規導入等を行うことにより安全に快適に利用いただくことができている。
課題 反省 方向性	老朽化が進んでいる施設が多く、昭和町公共施設長期保全計画を参考に修繕計画の策定が必要となっている。社会体育施設照明LED化について、令和4年度に全施設の設計を完了し、令和5年度を目途に全体育施設をLED化したい。

事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業
概要	昭和町内に設定された約1kmを6名のランナーで聖火を繋ぐ。不測の事態等が起きないよう、警備等万全の体制を取るとともに、押原中学校吹奏楽部にイベントを盛り上げていただいた。また、レガシーとして、聖火トーチ等を総合体育館に展示、リレーコース等を記した銘板をコースに設置、記録を写真集・動画集として残した。
効果	町内で聖火リレー実施されることにより、オリンピックを身近に体験し、スポーツに触れ合う機運の醸成を図ることができた。
課題 反省 方向性	1年延期されての実施であったが、依然コロナ禍であり直前まで実施の可否が問われたが、感染症対策を取り、多くの方の協力により無事に実施することができた。



## 令和3年度 昭和町教育委員会自己点検・評価に対する意見について

元昭和町立押原中学校長

学識経験者 鷹野 弘

### ◆教育委員会の点検・評価・活動・運営状況

毎月の定例会、臨時教育委員会、学校訪問以外にも総合教育会議を開催しており、教育現場の問題を即座に審議できる環境は十分評価できる。

収束の目途が立たない新型コロナウイルス感染症に対する各学校や各種関係機関の徹底した対応、水際対策には心から感謝したい。

引き続き、町内4校の教職員による児童生徒へのきめ細かな対応や対策、生涯学習施設の運営管理と活動支援に期待する。

コミュニティ・スクールを通じた地域との交流が、キャリア教育やふるさと教育にも大いに生かされている。昭和町で生活することに魅力を感じる子どもたちの育成に期待する。

いじめや不登校等、生活環境の変化で起こる問題に対して教職員と保護者、専門機関とが情報を共有し連携しながら早期に問題を解決する体制の強化を継続してほしい。

### ◆昭和町教育方針における自己点検・評価

昭和町教育方針（2019～2023）が順調に進められているが、様々な課題を検証解決しながら円滑な推進を期待したい。

昭和町の教育方針については、定めることが目的ではなく、その方針を浸透させ具現化することが大切である。

コミュニティ・スクールや道徳教育推進事業の実践は、それぞれの学校の実態に応じ取り組んでいるが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策の影響で、前年同様活動が大きく制限された。

地域の文化施設の活用・地域と学校が連携した安全防災対策の推進・青少年一般教職員海外派遣事業・福祉体験や福祉講話の実施についても規模の縮小もしくは中止となり、収束後の活動に期待したい。

特に、コミュニティ・スクールとして地域のつながりを大切にした取り組みが、山梨県のモデル地区として定着してきているのに、新型コロナウイルス感染症対策による活動制限により、児童生徒はもちろん、地域の人たちの意欲の低下が心配される。コロナ収束後は体制の立て直しと協力体制の強化を図る必要性を感じる。

いじめ、不登校等教育問題では、新たに「ヤングケアラー」への取り組みの必要性を感じた。各校が行っているアンケート調査や聞き取り等により早期発見に向けた対応と各専門機関との

連携を今後も図ってもらいたい。不登校児童生徒の学校や社会復帰の足掛かりとなる教育支援センター「にじいろ教室」の活用と継続した取り組みにも期待したい。

学生・教員・地域ボランティアの協力による「土曜学習塾」や「夏休みフォローアップ学習」は、大勢の児童が学力向上を目標に参加しているが、新型コロナウイルス感染症対策により活動が制限され半数近くが中止を余儀なくされた。

GIGAスクール構想により令和3年度から本格的に一人一台端末を併用した授業が始まった。GIGAスクールサポーターも導入し、低学年児童への操作指導体制が強化された。プログラミング学習への取り組みと教員のスキルアップに期待したい。

生涯学習については、各年齢層に合った行政サービスを企画・運営できているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、町立温水プールをはじめ町の主な体育施設が時間制限や中止等の制約を受けた。

各種スポーツ教室・文化協会活動も会場の人数制限により縮小開催もしくは中止を余儀なくされたが、感染対策を徹底しながら総合型地域スポーツクラブ（キャメリア）による「ふれあいラジオ体操」「各種スポーツ教室」を開催できたことは良かった。

成人式も「抗原検査キット」を事前に配布したり、当日会場で行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底することで開催することができた。

新型コロナウイルス感染症の収束後は、普段通りの事業や活動を進めて行くことになるが、引き続き感染対策を徹底しながら生涯学習の更なる推進を期待したい。

## お わ り に

全国的に少子高齢化や人口の減少が進む中、本町において常永地区は落ち着きを取り戻しましたが、押原地区や西条地区で新たな開発が進み、若い世代、特に子育て世帯において急激な増加が続いています。これは、子育てしやすいまちを第一に目指した施策が、高く評価された結果であると考えております。

今後は、教育環境の整備として特に押原中学校の教室の確保が喫緊の課題となる事から、令和4年度は、押原中学校の増築に向けた準備工事に取り掛かります。

教育に関しては、外国語教育やコミュニティ・スクールといった先進的な取り組みをいち早く取り入れ、実践していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策により延期又は中止を余儀なくされました。収束後は引き続き地域や家庭との連携の強化を図って行きます。不登校児童生徒に対しては、支援やサポートの拠点となる教育支援センター「にじいろ教室」を中央市と共同設置し、基礎学力の補充や生活習慣の改善を図りながら学校への復帰を目指して行きます。今後は、昭和町単独設置に向けた準備も並行して進めて行きます。

安全対策では、児童・生徒が安心して登下校できるよう、通学路の点検や改善を行い、防犯対策を強化する為、警察関係機関等とも連携して行きたいと考えています。

国の進めるGIGAスクール構想により、高速通信ネットワークと一人一台端末を整備し、情報教育への新たな要請に対応した個性と創造性を伸ばす人づくりを実現していきます。

昭和教育の理念の基、次代を担う多様な子どもたち一人ひとりを取り残すことなく教育職員の働き方改革を推進しながら、事務・事業を展開して参ります。

生涯学習においても、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策により活動が制限されましたが、それぞれ工夫する中で、町の施設である公民館、図書館、温水プール、総合体育館、杉浦醫院等を生涯学習の活動拠点とし、町民全てが活用し活躍できる場を提供できるよう今後も努力を重ね、住んで良かったまち、住み続けたいまちであるよう、推進して行きたいと考えています。